

事業番号0165										
平成29年度行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名	小児慢性特定疾病登録管理データ運用事業			担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし	担当課室	難病対策課			課長：川野 宇宏		
会計区分	一般会計									
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	－			関係する計画、 通知等	・小児慢性特定疾病登録管理データ運用事業費の国庫補助について ・小児慢性特定疾病登録管理データ運用事業の実施について					
主要政策・施策	少子化社会対策			主要経費	社会保障					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	小児慢性特定疾病児童等の治療・療養生活の改善や小児慢性特定疾病に係る理解促進等に資する情報の入口となるポータルサイトを構築し、適切な運用を図る。									
事業概要 （5行程度以内。別添可）	○小児慢性特定疾病の患者の治療・療養生活の改善等に役立つさまざまな情報の一元化を図り、患者や家族、患者団体等の支援団体及び関係学会等小児慢性特定疾病に関わる関係者に、わかりやすく情報提供することを目的としたポータルサイト「小児慢性特定疾病情報センター」の運営等を行う。 ○実施主体：国立研究開発法人国立成育医療研究センター ○補助率：定額									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	11	12	11	11	24			
		補正予算	－	－	－	－				
		前年度から繰越し	－	－	－	－	－			
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－				
		予備費等	－	－	－	－				
	計		11	12	11	11	24			
	執行額		11	10	11					
	執行率（％）		100％	83％	100％					
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		100％	83％	100％					
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	小児慢性特定疾病対策費補助金		11	24	指定医育成のためのe－ラーニング整備経費の増					
	計		11	24						
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 毎 年度
	前年度の医療受給者数		小児慢性特定疾病医療受給者数	成果実績	人	－	118,362	集計中	－	－
				目標値	人	－	－	118,362	－	前年度以上
				達成度	％	－	－	集計中	－	－
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	小児慢性特定疾病医療費負担金実績報告書									
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	ポータルサイトのページビュー数 ※26年度はサイトを開設した平成27年1月から3月までの3ヶ月間の実績			活動実績	件	754,735	2,885,374	3,496,874	－	
				当初見込み	件	600,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	単位当たりコスト＝X/Y X＝執行額 Y＝小児慢性特定疾病医療受給者数			単位当たりコスト	円	－	87	集計中	精査中	
				計算式	X/Y	－	10,300,000/118,362	集計中	精査中	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	I－5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること									
		施策	I－5－2 難病等の予防・治療等を充実させること									
		測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標年度 － 年度	
			－		実績値	－	－	－	－	－	－	
					目標値	－	－	－	－	－	－	
			定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)				
			－		－		－	－				
								施策の進捗状況(実績)				
		－										
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	小児慢性特定疾病児童等の治療・療養生活の改善や疾病にかかる理解促進等に資するポータルサイトを構築し、各自治体の担当窓口の紹介や対象疾病の検索、関係する研究成果などの情報を一元化して運用することで、児童やその家族、医療機関など関係者に対して広く情報を発信し、児童の健全育成を推進し、目標達成に寄与する。											
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野：	－	－							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度	
			－		成果実績	－	－	－	－	－	－	
					目標値	－	－	－	－	－	－	
					達成度	%	－	－	－	－	－	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度		
		－		成果実績	－	－	－	－	－	－		
				目標値	－	－	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－	－		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
－												

事業所管部局による点検・改善											
	項 目				評 価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	小児慢性特定疾病の患者、家族など関係者に対する情報発信や普及啓発を行う事業であり、広く国民のニーズがある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	国において、小児慢性特定疾病対策に関する各種情報を集約し、発信することが最も効率的な事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	治療方法が確立していない疾病の予防・治療等の充実に資する事業であり、政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	本事業を実施する 国立研究開発法人国立成育医療研究センターは、病院と研究所が一体となり、健全な次世代を育成するための医療と研究を推進することを理念として成育医療の発展に寄与する臨床・研究を行ってきた実績があり、成育医療全般について幅広い知識と経験を有する唯一の法人であることから、選定は妥当である。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	－					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	実施団体が事業を行う際に必要な経費水準となっており、算出した単位当たりコストは妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	－					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	交付申請書を審査した上で、事業目的に沿った経費のみ交付決定している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	－					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	－						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	交付要綱を定めることで、適切な単価や基準額に更新するなど、必要な見直しを行っている。						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	ポータルサイトには平成26年度(H27.1月～3月の3ヶ月間)754,735件、平成27年度2,885,374件のページビューがあり、適切な情報発信が行えている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	集積された治療実績は研究への有効活用が行われている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	小児慢性特定疾病は非常に症例数が少なく対象者も限定されるため、小児慢性特定疾病対策の概要や対象疾病の診断方法、指定医の研修資料など適切な情報発信や広い普及啓発が必要である。これにより、今後の小児慢性特定疾病克服へ大きな貢献が見込まれる。				
	改善の方向性	引き続き、効果的で効率的な情報発信に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	小児慢性特定疾病に係るデータベースを構築し、研究者等に当該データを提供することにより、小児慢性特定疾病の治療研究の推進を図るために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新26-054	平成27年度	697	
平成28年度	162					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(小児慢性特定疾病登録管理データ運用事業)

厚生労働省

11百万円

[

事業計画書の内容審査、交付決定等

]

【補助金等交付】

↓

A 実施主体

国立研究開発法人国立成育医療研究センター

11百万円

[

小児慢性疾病児童等のデータ管理の実施

]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.国立研究開発法人国立成育医療研究センター			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	ポータルサイト運用保守作業費	6			
消耗品費	消耗品の購入	3			
賃金	非常勤職員の雇用	2			
職員旅費	データの入力・確認・統合などのサポート業務のための旅費	0.2			
計		11.2	計		0

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	6010905002126	小児慢性特定疾病児童等の治療・療養生活の改善等に資するポータルサイトの構築、運用	11.2	補助金等交付	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-